りは、優しくて頼もしくて、笑顔が素敵で

催され、参加者がお互いの健康を祝いな 仁地区を皮切りに市内各地域や施設で開ー・中成22年度の敬老式が、9月7日に阿 がら楽し 今年敬老式の対象になった75歳以上 いひとときを過ごしました。

性で1 0 たに敬老者となられた方が643人です。 歳となります。 また、市内の最高齢者は阿仁地区の女 全体で1 06歳、男性では合川地区の1 人、米寿(8歳)の方が223人、新 9 9 0

の時代を乗り越えてこられ、長年にわた日の北秋田市、阿仁地域があるのも激動 暮らしていただきたい。みなさんが築き るもので多大なる功績に対 るご労苦を重ねたみなさんのご尽力によ さと優しさあふれる希望の街となるよう 上げてきた北秋田市、市民が主役で力強 励みになり、生活していただけると思 阿仁地区の敬老式では、津谷市長が、今 します」などと祝辞を述べました。 んばりますのでご支援とご協力をお願 な心のつながりが阿仁で暮らす方々 し上げます。 住み慣れたふるさとで安心して 。地域の みなさんのあ し敬意と感謝 た

さんが敬老作文を朗読。「阿仁の一番の誇 て、阿仁合小学校6年の米澤柊真

まし

素晴らしい歴史と伝統を作ってくれた、 しょう」などと感謝の気持ちを伝えました。 のふるさと阿仁で一緒に過ごしていきま でいてください も僕たちの自慢のおじさんやおばあさん ます。ぜひ、 を知れば知るほどその気持ちが強くなり おじさんやおばあさんです。阿仁のこと 参加者を代表して魚住隆志さん(荒瀬) お体に気をつけて、 。、そしてこれからも、こ いつまで

られた方、白寿・米寿を迎えられた方に記 体力の衰えを気力で力 式に参加しお会いできることを楽しみに のみなさんと来年も再来年も元気で敬老 を養生することが大切。本日出席の先輩 ためにも健康管理には薬だけに頼らず体 いきた 各地区の式典では、新たに敬老を迎え い」などと語ってくれま しながら生き

る一日を楽しみ、健康と長寿を誓い合 ながら近況を語り合うなどして記念とな 戯などが披露され、参加者の皆さんは盛 趣向を凝らした祝芸や保育園児による遊 念品が贈呈されました。 んに拍手を送ったり、お酒を酌み交わ また、祝宴では、婦人会の皆さんによる



阿仁地区(阿仁体育館)





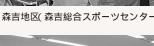


がお礼の言葉を述べ「元気な老後を送る

合川地区(合川体育館)











鷹巣地区(中央公民館)





どの訓練が本番さながらに行われました。ら約200人が参加し、消火活動や人命救助な

巣地区及びその一円で開かれ、消防団員や市民大館北秋田支部総合防災訓練が9月5日、鷹

定し、各防災関係機関の緊密な連携、協力づき、大規模地震による災害等の発生を想この訓練は、北秋田市防災訓練計画に基

索により救助を行いました。

投入し救助、

もう1

-名はボ

のもとに実践的な総合訓練を行い

、市民と

啓発を図ることを目的として実施された

するとともに、広く市民に防災思想の普及・ 制を確立し、迅速・的確な応急活動を実施 防災関係機関が一体となって連絡、協調体

IJ

ものです。

訓練は、森吉山を震源とするマグニチュ

水難救助訓(米代川河川敷)



消防団の連携による火災防御訓練

の際に大切なことは、自助、共助、公助であ

閉会式で統監を務めた津谷市長は、「災害

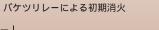
ると思う。災害の初動段階では、自らの身は

消火器訓練が実施されました。

日赤奉仕団、婦人消防隊の炊き出し訓練や

訓練が行われました。交流センター

前では、



要と想定。1

名は救命索発射銃でロー

・プを

待したい」などとあいさつしました。

住民の皆さんの防災意識が高まることを期 このような防災訓練を実施することにより 災害は忘れたころにやってくるというが、 力体制という共助の精神が非常に重要です。 自分で守るという自助、地域の皆さんの協

鷹巣橋から米代川に車が転落し、救助が必

ことを想定して行われました。

水難救助訓練は、米代

川河川

敷で行われ

の消火活動や

人命救助の活動を実施する

策本部を設置し、被害情報等の収集にあた 砂崩れなど甚大な災害が発生。市は災害対 生や家屋の損壊、ライフラインの寸断、土 大震度6強を記録、余震が頻発し、火災発 ド6・9の地震が発生し、鷹巣地区では最

り、他市町村から応援が期待できない中で